

【1】

(1)解答:May I / Can I come into this room?

訳:この部屋に入ってもよろしいですか。

解説:「許可」を表す表現。

- May I:最も丁寧な言い方(教師や上司に対して)。
- Can I:日常的で自然な言い方(友人や家族などに対して)。

(2)解答:should

訳:あなたはもっと早く寝るべきです。

解説:should は「～すべきだ」という助言・忠告を表す。

(3)解答:has to

訳:彼は明日その仕事を終えなければなりません。

解説:have to は「～しなければならない」。主語が三人称単数のため has に変化。

(4)解答:didn't have to

訳:彼らは昨日、早く起きる必要はありませんでした。

解説:didn't have to は「～する必要がなかった」。must not(禁止)とは意味が違う。

(5)解答:mustn't / can't stand here.

訳:あなたはここに立ち止まってははいけません。

解説:

- must not:禁止(～してはいけない)。
- can't:同様に強い禁止・制止を表す口語的な言い方。

(6)解答:don't have to

訳:私は明日、その本を持ってこなくてもよい。

解説:don't have to は「～する必要がない」。must not と区別。

(7)解答:can

訳:メアリーはピアノをととても上手に弾くことができます。

解説:can は「能力」を表す助動詞。

(8)解答:Do you have to answer the

question?

訳:あなたはその質問に答えなければなりませんか。

解説:Do you have to～? は「～しなければなりませんか」と義務を尋ねる疑問文。

(9)解答:had to

訳:彼は昨日、学校を休まなければなりませんでした。

解説:have to の過去形。過去の義務を表す。

(10)解答:Can you make this question easily?

訳:あなたはこの問題を簡単に作ることができますか。

解説:Can you～? は「～できますか」。能力・可能を尋ねる。

(11)解答:may

訳:明日は雨が降るかもしれません。

解説:may は 50%程度の可能性を示す「～かもしれない」。

(12)解答:have to

訳:あなたは宿題を今すぐしなければなりません。

解説:have to は「～しなければならない」。客観的な義務を表す。

(13)解答:must

訳:彼は今頃、図書館にいるにちがいありません。

解説:must(推量)は「～にちがいない」という強い確信を表す。

(14)解答:could not

訳:私は 10 年前、英語を話すことができませんでした。

解説:could not(couldn't) は can の過去の否定形。過去の能力の否定。

(15)解答:are going to

訳:彼らは来週の日曜日、海に行くつもりです。

解説:be going to は「～する予定/つもり」。確定した未来。

(16)解答: Shall I carry that bag? — Yes, please.

訳: 私がそのカバンを持ちましょうか。— はい、お願いします。

解説: Shall I~? は申し出・提案の表現。「私が~しましょうか」。

(17)解答: Shall we go to the park? — No, let's not.

訳: 公園へ行きましょうか。— いいえ、やめましょう。

解説: Shall we~? は「一緒に~しませんか」という提案表現。否定応答は let's not.

(18)解答: Will you eat this cake? — No, thank you.

訳: このケーキを食べますか。— いいえ、今はけっこうです。

解説: Will you~? は「~してくれますか」「~しませんか」という勧誘。

ここでは食べることを勧める丁寧な提案表現。

(19) 解答: must be at home now. — I think so.

訳: 彼は今、家にいるにちがいません。— そうだと思います。

解説: must be は「~にちがいない」という強い確信の推量を表す。話し手が「確実にそうだ」と感じているときに用いる。対義の can't be は「~のはずがない」。

(20)解答: Can / Could / Will / Would you close the door? — Sure.

訳: ドアを閉めてくれませんか。— もちろんです。

解説: いずれも依頼を表すが、丁寧さに段階がある:

- Can you~?: 普通の依頼(友人同士など)
- Could you~?: より丁寧な依頼(一般的に最も自然)
- Will you~?: やや直接的

- Would you~?: 最も丁寧で柔らかい依頼

【2】

(1) (a) He can play the piano very well.

(b) He is able to play the piano very well.

訳: 彼はとても上手にピアノを弾くことができます。

解説: can は「能力」を表す助動詞。be able to は同じ意味を持つ一般動詞構文で、時制の自由度が高い。

(2) (a) We have to clean our classroom today.

(b) We must clean our classroom today.

訳: 私たちは今日、教室を掃除しなければなりません。

解説: have to と must はともに「義務」。must は話し手の主観的判断、have to は外的な必要性を表す。

(3) (a) Can Mike run faster than you?

(b) Is Mike able to run faster than you?

訳: マイクはあなたより速く走ることができますか。

解説: can は能力を表す助動詞。be able to に置き換えると同義。疑問文では be 動詞(is)が先頭に来る。

(4) (a) I am going to play soccer after lunch.

(b) I will play soccer after lunch.

訳: 私は昼食後にサッカーをするつもりです。

解説: be going to と will はどちらも「未来」を表す。be going to は「すでに決めた予定」、will は「その場の意志」。

(5)(a) He will not come to school tomorrow.

(b) He isn't going to come to school tomorrow.

訳:彼は明日学校に来るつもりがありません。

解説:will は「～するつもりだ」「～でしょう」という未来を表す助動詞で、be going to も同じく「～する予定・つもり」を表す。

否定文では will not と be not going to はほぼ同義だが、will は話し手の意志的な未来、be going to はすでに決まっている予定を表す点で使い分けられる。

(6) (a) I will visit my grandparents this weekend.

(b) I am going to visit my grandparents this weekend.

訳:私は今週末、おじいちゃんとおばあちゃんを訪ねるつもりです。

解説:will は単純未来。be going to は「予定が決まっている」未来。状況により使い分ける。

(7) (a) He must finish his homework tonight.

(b) He has to finish his homework tonight.

訳:彼は今夜、宿題を終えなければなりません。

解説:must=have to(義務)。must は話し手の判断、have to は規則や外的要因による必要。

(8) (a) Will you join our soccer club?

(b) Are you going to join our soccer club?

訳:あなたはサッカー部に入るつもりですか。

解説:will は意志をたずねる質問、be going to は「予定」を尋ねる質問。be 動詞の疑問文に注意。

(9) (a) They could run very fast when they were children.

(b) They were able to run very fast when they were children.

訳:彼らは子どものころ、とても速く走ることができました。

解説:could は一般的な過去の能力、was/were able to は「一度限りの具体的な行動」にも使える。

(10) (a) We couldn't see any stars last night.

(b) We were not able to see any stars last night.

訳:私たちは昨夜、星を一つも見ることができませんでした。

解説:not able to は couldn't と同じ意味。「できなかつた」という過去の否定を表す。

(11)(a) I will not go out tonight.

(b) I am not going to go out tonight.

訳:私は今夜出かけるつもりはありません。

解答:going to

解説:will not と be not going to はどちらも未来の否定を表す。「～するつもりがない」という場合、be going to のほうが予定や意思がすでに固まっているニュアンスになる。

(12)(a) She can speak three languages.

(b) She is able to speak three languages.

訳:彼女は3か国語を話すことができます。

解答:able to

解説:can は能力を表す助動詞で、be able to に置き換えると同義。be 動詞は主語に合わせて is になる。

(13)(a) Must I clean the room today?

(b) Do I have to clean the room

today?

訳:私は今日部屋を掃除しなければなりませんか。

解答:have to

解説:must と have to は「~しなければならない」という義務を表す。疑問文では Do I have to~? の形にして尋ねるのが自然。

(14)(a) He cannot speak French.

(b) He is not able to speak French.

訳:彼はフランス語を話すことができません。

解答:able to

解説:cannot(can't) は「~できない」、be not able to はその書き換え。意味は同じで、be 動詞は主語に合わせて is not となる。

(15)(a) You must wear a helmet when you ride a bike.

(b) You have to wear a helmet when you ride a bike.

訳:自転車に乗るときはヘルメットをかぶらなければなりません。

解答:have to

解説:must と have to はどちらも「~しなければならない」という義務を表す。must は話し手の主観的判断、have to は社会的・客観的な必要を示す傾向がある。

【3】

(1) He goes to school by bike every day.

→ He will go to school by bike tomorrow.

訳:彼は明日、自転車で学校へ行くでしょう。

解説:現在形の「習慣」を、未来を表す will+動詞の原形 に書き換える。

(2) She studies English after dinner.

→ She must study English after

dinner.

訳:彼女は夕食後に英語を勉強しなければなりません。

解説:助動詞 must は「~しなければならない」を表す。主語によって形は変化しない。

(3) You can play the piano very well.

→ Are you able to play the piano very well?

訳:あなたはピアノをととても上手に弾くことができますか。

解答:Are you able to

解説:can は「~できる」という能力を表す助動詞で、be able to に置き換え可能。疑問文では be 動詞 を文頭に出す。主語が you なので、be 動詞は are を用いる。したがって、正しい形は Are you able to ~? となる。(4) He could run very fast when he was young.

→ He could not run very fast when he was young.

訳:彼は若いころ、とても速くは走れませんでした。

解説:could の否定形は could not (couldn't)。過去の能力の否定を表す。

(5) They may come to the park this afternoon.

→ They may not come to the park this afternoon.

訳:彼らは今日の午後、公園に来ないかもしれません。

解説:may not は「~しないかもしれない」という不確実な否定の推量。

(6) He must clean his room today.

→ He will have to clean his room today.

訳:彼は今日、自分の部屋を掃除しなければならないでしょう。

解説:未来の義務を表す場合は will have to を用いる。must は未来形にできない。

(7) You must be quiet in class.

→ You don't have to be quiet in class.

訳:授業中は静かにしていなくてもよい。

解説:must の反対は don't have to(～する必要はない)。**must not(～してはいけない)**と混同しない。

(8) She has to finish this report now.

→ She had to finish this report yesterday.

訳:彼女は昨日、このレポートを終えなければなりませんでした。

解説:have to の過去形は had to。過去の義務を表す。

(9) You must not eat in the library.

→ Don't eat in the library.

訳:図書館で食べてはいけません。

解説:must not(禁止)は、命令文 Don't + 動詞の原形 に書き換えできる。

(10) He can swim very fast.

→ He will be able to swim very fast in two weeks.

訳:彼は2週間でとても速く泳げるようになるでしょう。

解説:can の未来形は存在しないため、will be able to を用いる。

(11) My father's sister must get up early tomorrow.

→ Does my father's sister have to get up early tomorrow?

訳:私の父の姉(叔母)は明日早く起きなければなりませんか。

解答:Does my father's sister have to

解説:must と have to はともに「～しなければならない」という義務を表す。疑問文にす

るとき、must はそのまま文頭に出せるが、have to を使う場合は一般動詞扱いとなるため、do / does を用いて疑問文を作る。主語が my father's sister(3人称単数)なので、助動詞は does、動詞は have の原形となる。

(12) They could not finish the work in two days.

→ They weren't able to finish the work in two days.

訳:彼らは2日でその仕事を終えることができなかった。

解説:could not と was/were not able to はほぼ同義。過去の不可能を表す。

(13) You should study math harder.

→ You should not study math harder.

訳:あなたはこれ以上数学を一生懸命勉強すべきではありません。

解説:should not(shouldn't) は「～すべきではない」という助言の否定形。

(14) He will visit Kyoto next Sunday.

→ He is going to visit Kyoto next Sunday.

訳:彼は次の日曜日に京都を訪れる予定です。

解説:be going to は「予定」や「意図」を表す未来表現。will と意味は近い。

(15) She must be ill in bed.

→ She can't be ill in bed.

訳:彼女が病気で寝ているはずがない。

解説:must be は「～にちがいない」という強い肯定の推量を表す。その反対は can't be で、「～のはずがない」という強い否定の推量になる。must not は「～してはいけない(禁止)」の意味なので混同しないよう注意。

(16) I am going to meet my uncle this afternoon.

→ I will meet my uncle this afternoon.

訳:私は今日の午後、おじさんに会うでしょう。

解説:am going to は「予定」、will は「その場の意志」。どちらも未来を表す。

解答:Is Nancy going to

解説:be going to + 動詞の原形 は「～するつもり」「～する予定」を表す未来表現。疑問文では be 動詞 を主語の前に出す。主語が Nancy(3人称単数) のため、be 動詞は is を用いる。will と be going to はどちらも未来を表すが、be going to は「すでに決まっている予定」に使われる。

(18) He must finish his homework.

→ He had to finish his homework last night.

訳:彼は昨夜、宿題を終えなければなりませんでした。

解説:must の過去形は had to。過去の義務を表す。

(19) Don't be late for school.

→ You must not be late for school.

訳:学校に遅れてはいけません。

解説:must not(mustn't) は「～してはいけない」という禁止を表す。命令文 Don't ~ と同じ意味をもつ。must の否定形は「～する必要がない(don't have to)」ではなく、「～してはいけない(禁止)」になる点に注意。

(20) Must the girls clean the classroom after school?

→ Do the girls have to clean the classroom after school?

訳:その女の子たちは放課後、教室を掃除しなければなりませんか。

解説:must の疑問文はかたい表現。日常的には Do you have to ~? が自然。

【4】

(1)② (2)① (3)① (4)① (5)① (6)①
(7)② (8)② (9)③ (10)① (11)③
(12)① (13)① (14)② (15)① (16)③
(17)② (18)① (19)① (20)① (21)②
(22)② (23)③ (24)① (25)①

(1)A: Must I finish this report by tonight?

B: No, you don't have to.

訳:A「今夜までにこのレポートを終えなければなりませんか。」

B「いいえ、しなくてもかまいません。」

解説:must は「義務」。否定応答は don't have to(～する必要はない)。must not(禁止)と混同しない。

(2)A: Did she have to finish this work by herself?

B: Yes, she did.

訳:A「彼女は自分でこの仕事を終えなければなりませんでしたか。」

B「はい、そうしなければなりませんでした。」

解説:have to の過去形。疑問文の助動詞 did に合わせて応答も did で返す。

(3)A: May I come in now?

B: Of course.

訳:A「今入ってもよいですか。」

B「もちろんどうぞ。」

解説:may は丁寧な許可を表す。肯定応答“Of course.” は「どうぞ」「構いませんよ」の意味で最自然。

(4)A: Can I open the window?

B: No, you must not.

訳:A「窓を開けてもいいですか。」

B「いいえ、開けてはいけません。」

解説:can は許可。「No, you must not.」は「禁止」。must not = ~してはいけない。

(5)A: Are you going to start your

homework now?

B: No, I'm not.

訳: A「今宿題を始めるつもりですか。」

B「いいえ、まだです。」

解説: be going to は「～する予定・つもり」。

疑問文に対する否定は be 動詞を使う。

(6) A: Do we have to wear our uniforms tomorrow?

B: No, you don't have to.

訳: A「明日は制服を着なければなりませんか。」

B「いいえ、着なくてもいいです。」

解説: have to は「～しなければならない」。

否定は don't have to (する必要はない)。

禁止とは異なる。

(7) A: Should I call the teacher right now?

B: No, you shouldn't.

訳: A「今先生に電話したほうがいいですか。」

B「いいえ、しないほうがいいです。」

解説: should は助言・提案。否定形 shouldn't は「しないほうがよい」。

(8) A: Would you like to come to the library with us?

B: No, thank you.

訳: A「いっしょに図書館へ行きませんか。」

B「いいえ、結構です。」

解説: would you like～? は丁寧な誘い・申し出。断るときは “No, thank you.” が最も自然。

(9) A: Will I be able to finish this project today?

B: Yes, you will.

訳: A「今日このプロジェクトを終えられるでしょうか。」

B「はい、できますよ。」

解説: will be able to = 「～できるようになる」。未来の能力・可能を表す。応答も will

で返す。

(10) A: Will you join our club?

B: Of course.

訳: A「私たちのクラブに入ってくれますか。」

B「もちろんです。」

解説: will you～? は依頼・誘い。快い承諾には “Of course.” が自然。

(11) A: Will you help me with this math problem?

B: Sorry, I can't.

訳: A「この数学の問題を手伝っていただけますか。」

B「ごめんなさい、できません。」

解説: 依頼を断る表現。“Sorry, I can't.” = 「申し訳ないけれど無理です」。

(12) A: Can we eat lunch here?

B: No, you can't.

訳: A「ここで昼食を食べてもいいですか。」

B「いいえ、食べてはいけません。」

解説: can は許可。否定は “No, you can't.” 「～してはいけません」。

(13) A: Are you going to visit your grandparents this weekend?

B: Yes, I am.

訳: A「今週末、おじいちゃんおばあちゃんの家に行く予定ですか。」

B「はい、そのつもりです。」

解説: be going to は「予定」。疑問文の be 動詞に対応して “Yes, I am.”。

(14) A: Will the boys have to clean the classroom today?

B: No, they won't.

訳: A「今日は男の子たちが教室を掃除しなければなりませんか。」

B「いいえ、彼らではありません。」

解説: will have to = 「～しなければならないだろう(未来の義務)」。否定応答は “No, they won't.”。

(15)A: Was Tom able to finish the report on time?

B: Yes, he was.

訳: A「トムは時間どおりにレポートを終えることができましたか。」

B「はい、できました。」

解説: be able to は can の過去形に相当。「過去の能力・達成」を表す。

(16)A: Shall we open the curtain?

B: No, let's not.

訳: A「カーテンを開けましょうか。」

B「いいえ、やめておきましょう。」

解説: shall we~? は提案。否定の返答は let's not(～しないでおう)が定型。

(17)A: Could you help me with my homework?

B: Sorry, I'm busy now.

訳: A「宿題を手伝ってくれないか。」

B「ごめんなさい、今忙しいの。」

解説: could you~? は丁寧な依頼。断る場合 “Sorry, I'm busy now.” が自然。

(18)A: Would you like some coffee?

B: No, thank you.

訳: A「コーヒーはいかがですか。」

B「いいえ、結構です。」

解説: would you like~? は申し出。No, thank you. が最も礼儀正しい断り。

(19)A: Do I have to write my name on this paper?

B: No, you don't have to.

訳: A「この紙に名前を書かないといけませんか。」

B「いいえ、書かなくてもかまいません。」

解説: Do I have to~? は「～する必要がありますか?」。否定は don't have to(必要なし)。

(20)A: Shall we make some tea for everyone?

B: Yes, please.

訳: A「みんなのためにお茶を入れましょうか。」

B「はい、お願いします。」

解説: shall we~? は提案。肯定は “Yes, please.” が定型表現。

(21)A: Can you wait here for a few minutes?

B: No, I can't.

訳: A「ここで数分待ってもらえますか。」

B「いいえ、待てません。」

解説: can you~? は依頼。「～してもらえますか?」。断るときは “No, I can't.”。

(22)A: Must the students clean the classroom after school?

B: Yes, they must.

訳: A「放課後、生徒たちは教室を掃除しなければなりませんか。」

B「はい、そうしなければなりません。」

解説: must は「強い義務」。肯定応答も must を繰り返す。

(23)A: May I sit here?

B: No, you can't.

訳: A「ここに座ってもいいですか。」

B「いいえ、座ってはいけません。」

解説: may I~? の否定は “No, you can't.” または “I'm afraid not.”。ここでは直接的に禁止。

(24)A: Should I bring anything to the party?

B: No, you don't have to.

訳: A「パーティーに何か持って行ったほうがいいですか。」

B「いいえ、持ってこなくても大丈夫です。」

解説: should I~? は助言・確認。「～したほうがいいですか?」。不要なら don't have to。

(25)A: Will you lend me your bike tomorrow?

B: Sorry, I can't.

訳:A「明日、自転車を貸してくれますか。」

B「ごめんなさい、貸せません。」

解説: will you~? は依頼。「~してくれますか?」の否定返答は“Sorry, I can't.”が丁寧で自然。